

いわき支部だより

発行責任者:いわき支部長 柴田 昭浩

発行日:平成24年7月5日(木) 平成24年度 第1号

1.支部長挨拶



柴田昭浩 支部長

平素はいわき支部活動にご理解、ご協力をいただきまして感謝申し上げます。今年度はいわき支部にとって最も大きな行事と言えます県学会が開催されました。福臨技の5つの支部がいわき支部・県北支部・会津支部・相双支部・県南支部の順番で担当しますので、5年に1回は巡ってきます。担当前の県学会では日時・会場等ある程度の情報を、プレゼンできるようにしなければなりませんので、準備は1年より前から行う事になります。学会内容についての企画は相当の労力と期間が必要です。今回、森事務局長をはじめいわき支部役員の方々には実行委員として大変ご苦勞をお掛けしました。そして、学会運営に際しては各施設から35名の運営委員にご協力をいただきました。お陰様で大きな問題も無く無事に県学会を終える事ができました。改めましていわき支部の皆様にご感謝申し上げます。

いわき支部は現在31施設、総会員数180名(施設会員173名、自宅会員6名、県会員1名)で、県南、県北に続いて3番目の会員数を有しております。今年度も9月には第1回学術講演会、10月にはレクリエーション、12月には教養講座、1月には新年会、2月には第2回学術講演会を開催する予定です。さらに各学術研究会が行われます。これらは検査技師には欠かせないスキルアップと、今後のいわき支部発展の為に会員の親睦を深めていただきたいと思いますと考えております。皆様には日々ご多忙とは存じますが是非ご参加をお願いいたします。

今後もしわき支部のお役に立てるように、いわき支部役員一同一丸となって務めさせていただきますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

2.平成24年度いわき支部学会・総会開催される



柴田支部長

平成24年度いわき支部学会・総会が4月14日(土)、いわき市総合保健福祉センターにおいて総数160名(委任状74名)の参加者を得て開催されました。はじめに、柴田支部長の挨拶があり、つづいて県技師会大花会長の来賓祝辞、そして定期総会へと移りました。

総会では、報告、議案および新役員はすべて承認されました。また、県学会運営に際してご協力いただく運営委員の代表者に対して柴田学会長より委嘱状の授与が行われました。



大花 県会長



総会風景



委嘱状授与式

3. いわき支部役員紹介

役職名	氏名	施設名
支部参与	山崎美一	自宅
支部長	柴田昭浩	かしま病院
副支部長	帯施 晃	小名浜生協病院
副支部長	平山善雄	微研東北中央研究所
事務局長	森 菊夫	磐城共立病院
副事務局長	蛭田留里子	磐城共立病院
学術部長	塚本 厚 (生涯教育兼務)	松村総合病院
副学術部長	吉田朋身	松村総合病院
会計部長	菱川恭子	かしま病院
幹事	遠藤一良	保健衛生協会いわきセンター
幹事	木田譲仁	保健衛生協会いわきセンター
幹事	下山田浩美	呉羽総合病院
幹事	鈴木きよ子	微研東北中央研究所
幹事	大西人美	磐城共立病院
幹事	山口みどり	福島労災病院
会計監査	河村幸江	呉羽総合病院
会計監査	田中秀子	福島労災病院



新役員一同

4. 一般演題発表



演題発表者

今年度は、県学会開催地がいわき支部と言うことで、予演会形式で学会が開催されました。会場を3会場に仕切り、本番さながらの活発な質疑応答の声会場に響き渡り、県学会の前哨戦の様な雰囲気を感じられました。

また、実行委員の方々も、県学会の流れに沿って、様々な角度からチェックしている姿が目立ち、支部一丸となって県学会を成功させようとする意気込みが、伝わってきました。

そして、演題発表後、県技師会大花会長より新人に早い段階で経験の場を与え、今後原稿レスにも対応できる人材の育成も必要であろうなど、講評をいただきました。

最後に、帯施副支部長の閉会の辞が述べられ閉会としました。



7月支部学術研究会案内

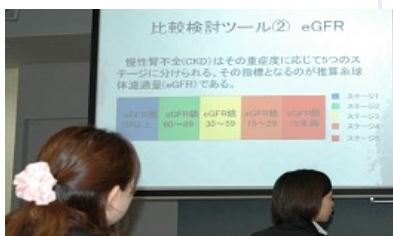
- 1. 輸血・免疫血清**
 内容：「甲状腺検査について
甲状腺ホルモンと疾患」
 日時：7月5日（木）
 場所：かしま病院
- 2. 血液**
 内容：「血液形態学の基礎」
 日時：7月9日（月）
 場所：福島労災病院
- 3. 一般**
 内容：「尿沈渣 イロハのイ」
 日時：7月26日（木）
 場所：かしま病院
- 4. 微生物・公衆衛生**
 内容：「感染症発生动向調査事業等においてゆうパックにより検体を送付するための研修会」
 日時：7月12日（木）
 場所：総合保健福祉センター

5. 平成24年度 県学会・総会 開催される



24年度日臨技北日本支部 医学検査学会

会期：平成24年10月20～21日
会場：コラッセ福島
担当：福島県臨床衛生検査技師会



晴天に恵まれ、また新緑につつまれたいわき明星大学で、5月27日（日）平成24年度県学会・総会が総数351名の参加を得て開催されました。はじめに、柴田学会長より学会開催の宣言がありました。今回は、AV棟2会場と薬学部棟4会場の計6会場に分かれての演題発表となりました。五月晴れのなかの会場移動は、たくさんの木々がおおい茂り、学生時代を思い起こされた方もいらっしゃると思います。（若い方は、移動も楽しかったかな？）

また、特別講演はいわき明星大学副学長・薬学部教授田中春雄先生をお迎えして、『HIVの体内からの除去は可能か？』をご講演いただきました。世界の3大感染症の1つであるHIVについて、検査技師としてより知識を深める事ができました。

そして、定期総会では、県技師会大花会長の挨拶があり、会長より各種表彰状の授与が行われました。長年の技師会活動にご尽力された方には、感謝申し上げます。また、学術活動に精進された方々、今後一層の活躍を期待しております。

その後、県保健福祉部薬務課長在原登氏、いわき市鈴木英司副市長のご両名より、今学会への来賓祝辞をいただきました。

引き続き総会では、各審議事項、新役員が承認されました。次年度の学会、総会担当支部（県北）の支部長挨拶があり、最後に閉会の辞が述べられ閉会としました。

今回、皆様にご協力をいただき、学会・総会を無事終了する事ができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。また、学会ご参加の皆様、ありがとうございました。



実行・運営委員の皆さん

6. 第1回教養講座「薔薇の講習会」



「ばらとお花の小さな森」入口



摘んだバラで、優雅な薔薇風呂！

きれいな薔薇に囲まれ
贅沢な気分を
味わいました。



恒例の「薔薇の講習会」が、6月9日（土）平赤井（帯施邸）にて帯施 晃氏（いわき支部副会長）を講師として開催されました。全天候型のテントが設置され、風と雨のなかの講習会となりました。最初に、昼食を兼ねて、おにぎりとおにぎりとおにぎりとおにぎりと帯施氏手作りの焼き鳥を食した後、①ばらのジュース作り、②ばらのリキュール作り、③バラ風呂用の花摘みの3コース分かれて、親睦を深めながらの講習会でした。

ばらのリキュール作りは、摘んだ花びらを花の種類ごとに分け、花びらの付け根を取り、色づけ・香り



づけの花びらを容器に入れ、氷砂糖、レモン、リキュールを入れて出来上がり、しばらく自宅で熟成させます。美しい色合いと味わいを醸し出してくれるのを待つのみです。

素敵なお酒に、お洒落な薔薇のシールを貼り付けたら世界に1つ『ばらのリキュール』の完成です。

時間の過ぎるのも忘れるくらい楽しいひと時を過ごしました。最後に、デザートもいただき『身も心』も幸せな気分の包まれました。

職人技が随所に見られた男性陣！



綺麗なワインレッド色
のばらジュース



参加者の皆さん（参加総数21名）



熟成したリキュール
飲むのはいつ？

本号およびバックナンバーは、
福島県臨床衛生検査技師会ホームページ
いわき支部からご覧いただけます。

<http://www.fukushima-amt.or.jp/>